



1/10 無火災を願って 消防出初式

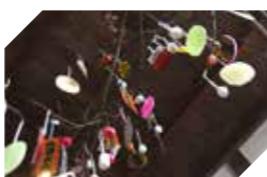
今年1年の無火災を祈願する新年恒例の消防出初式が行われました。会場となった消防署には消防団員、消防職員、関係者が集まり式典に参加。その後越前大仏前の駐車場にて、火災ゼロを願い、消防団が空高く一斉放水を行いました。



1/15 養蚕の歴史を身近に

ゆめおーれ勝山にて、上野こども園の園児26人が「まゆ玉かざり」を行い、ケヤキの枝にまゆや縁起物などを飾りました。

まゆ玉かざりは2月21日(土)、22日(日)の勝山左義長まつりまでの間、ゆめおーれ勝山に展示されています。



1/20 未来を育てる認定マーク

株坪内建設が、ユースエール認定企業として認定され、認定通知書の交付式が行われました。

ユースエール認定は、若者の採用・育成に積極的に雇用管理が優良な中小企業を厚生労働大臣が認定するもので、市内の企業が認定を受けるのは2社目となります。

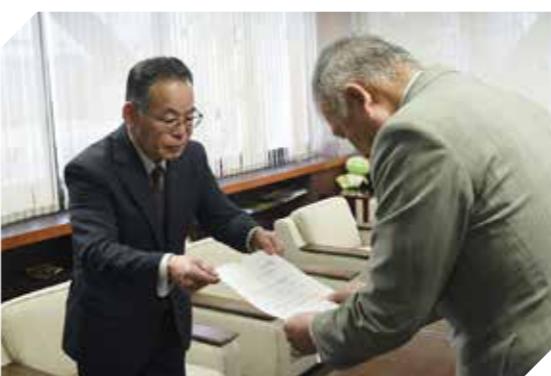


詳細はこちら



1/26 新聞を活用した探求學習

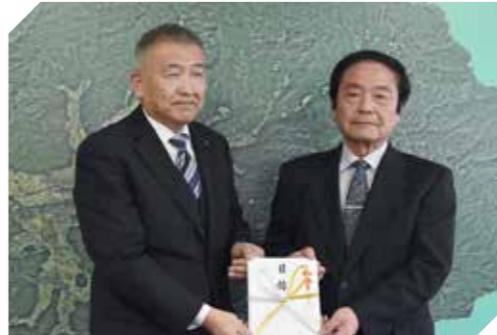
勝山北部中学校にて、新聞を活用して学んだことをもとに、自分の考えを他の人に伝える「ニュースプレゼンコンテスト」が行われました。各クラスでの予選を勝ち抜いた6人が、全校生徒の前でフードロスや地球温暖化などについて熱弁しました。



1/27 31年ぶりの改定に向けて

勝山市議会からの議員報酬引き上げの要望を受け、市長が諮問した勝山市特別職報酬等審議会から、令和8年4月1日からの議員報酬4万円引き上げが妥当とする答申がありました。付帯意見として、議員活動の一層の充実と、さらなる情報発信などが要望されました。

答申を受け、市は3月定例会に関係条例案を提案する予定です。



三枝氏が市長に目録を渡す様子

ご寄附ありがとうございます

① 子育て世代や障害を持った方が安心できるまちへ
鹿谷町発坂の三枝政勝氏から、子育て世代や障害を持った人が安心して生活できるまちづくりに活用してほしいと、100万円をご寄附いただきました。

② 観光産業の振興に
合同会社ジオスタジオから、観光産業の振興に活用してほしいとご寄附いただきました。

JCHO
福井勝山総合病院
大藤和也



JCHO-
Column

肝臓の病気について

肝臓はお腹の右上にある臓器で、重さは約1,000～1,500gと体の中で最も大きな臓器です。お肉屋さんで見かける赤色の「レバー」が肝臓にあたります。肝臓は、食事から得た栄養を体で使いやすい形に変える代謝、体に必要な物質の合成、アルコールや薬、体に有害な物質を分解・解毒するなど、生命を維持するために欠かせない重要な役割を担っています。

肝臓の働きが低下し、肝不全の状態になると、黄疸（皮膚や白目が黄色くなる）、腹水、意識障害（肝性脳症）、食道や胃の静脈瘤などの合併症が現れることがあります。さらに病気が進行すると肝がんを発症することもあります。肝臓は一度大きく障害されると回復が難しく、重度の肝不全を救う方法は、現在の医療では肝移植しかありません。そのため、肝臓病は症状が出る前に見つけ、進行を防ぐことが何よりも大切です。

肝臓病の原因には、B型・C型肝炎ウイルスへの感染、過度の飲酒、肥満や糖尿病に関連する脂

肪肝、薬剤の影響などがあります。これらの原因が長く続くと、慢性的な肝炎を経て肝硬変、さらには肝がんへと進行することがあります。近年では、肝炎ウイルスに対する効果の高い治療薬が普及し、ウイルス性肝炎による肝臓病は減少してきました。一方で、生活習慣の変化に伴い、脂肪肝による肝臓病は増加しています。

肝臓は「沈黙の臓器」と呼ばれ、多少悪くなても自覚症状が出にくいのが特徴です。そのため、気づいたときには病気が進行していることも少なくありません。こうした背景から、日本では「奈良宣言」により、肝臓病の予防や早期発見的重要性が呼びかけられています。具体的には、健康診断等で肝機能検査のALT値が30を超えた場合には、医療機関を受診することが勧められています。

健康診断の結果をきっかけに、ALT値が30を超えた場合には早めにかかりつけ医へ相談し、大切な肝臓を守っていきましょう。

